

14.6=

50

對馬氣象年報

大正十年



始





146-50

◎大正十一年對馬の氣象

本年本島に於ける平均気温は南端神崎に於て獨り十  
 八度の高温を來せるも其の他にありては何れも十五  
 度乃至十五度六の間において概ね兩端部に高く中  
 央部に低き傾向を示したり之れを平年に比すれば一  
 般に過高を示し其の差概して一度内外に及び又年  
 内に於ける絕對最高にありては九月二日神崎に三十  
 八度六を測り亞て八月十一日全地に三十八度を測り  
 稀なる高温を見たり而して最低極なりしは一月十一  
 日小茂田に氷点下七度五を示し之れに亞て全日嚴原  
 に氷点下六度一を測りたり尙降水量に就て見るに各  
 地共近年珍らしき寡少を示し其の最も多量なる嚴原  
 に於ても年總量千四百八十七耗八に過ぎずして平年  
 に八百二十餘耗の不足となり之に亞て多量なるは佐  
 須奈の千四百二耗とす又最も少量なりしは仁位の九  
 百八十一耗八にして平年より七百九十耗の減少を示  
 せり之れを各月に就て檢するに比較的多量を示せる  
 は二、九月の兩月にして各地を通じて平年を凌駕せ  
 るも其の他の月にありては何れも平年量に達せず殊  
 に暑氣旺盛の八月に於て寡少なりし爲め全島旱魃を

告げ井水の涸渇作物の枯死等早害を見ること不尠ざ

り然れども九月に入りては降雨甚だ潤澤となりし  
 のみならず五日より六日に互りては豪雨一時に臻り  
 橋梁の流失道路の破損等の被害を生じたりき要する  
 に本年の降雨状態は頗る順調を缺ぎ從て之れに因る  
 諸種の損害は蓋し尠なからざりしものと思惟せらる  
 而して降水日数は嚴原の百二十七日最も多く佐須奈  
 の百十八日之れに亞て琴の九十日を最少とす故に快  
 晴日数は琴に最も多く百十四日を數へ神崎の六十日  
 最も少なく曇天日数は神崎の二百四十四日最も多く  
 仁位の百三十六日最も少なりき暴風日数は各地甚  
 だ不同にして嚴原に最も多く八十日を算したりしも  
 南端神崎の如きは僅々二十一日過ぎざりき要するに  
 本年は平年に比すれば夏季に於て異常の高温を示し  
 雨量は總量に於て稀れなる寡少を示せるに拘らず豪  
 雨を見たる等頗る變調に經過したりき

◎大正十一嚴原の氣象

本年は平年に比すれば異常現象を見ること多く即ち  
 気温は從來の記録を破る高度に昇り降水量は稀なる  
 減少を告げたるに拘らず時に豪雨を降らし從て早害

大正  
 12. 5. 23  
 内文

水害等を生じ又颱風の襲來漁船の遭難其の他地震等ありて本島にては珍らしき變調を見たる年なりき今各氣象要素に就て其の狀態を述べれば平均氣壓は七百六十耗六を測りて平年に比し僅かに零耗一の低落を示せしが年内比較的昇降顯著なるものは一月に於て一耗一の昇高を來し二月に於て零耗九の下降を測り而して年中絕對最高極なりしは一月卅一日に測れる七百七十三耗九にして北支那の高氣壓南下して著しく發達せる結果に據り最低極は七月七日沖繩附近に發生せし優勢なる颱風の本島西方沖を南鮮に向ひて通過せる際に測れる七百三十七耗七なりき氣温の平均は十五度二にして平年より零度六の過高となり就中二月に於ては二度五八月に於て二度四の高温を示して稍々顯著なる變化狀態を見たり其の年絕對最高極は八月五日に現れたる三十五度七にして舊位置に於て測れるものと共に本所創立以來の高極を示し最低極なりしは一月十一日に於て氷点下六度一を測り降水量は年總量千四百九十六耗二に過ぎずして平年に比し實に八百二十二耗の不足を告げたりしが之れ全く雨量一般に潤澤なるべき四月乃至八月に於て近年稀なる減少を來し殊に八月に於ては僅かに

八耗一を測りて平年の二割にも達せず斯月としては創立以來の現象を呈し更に十二月に於て又著しく寡少なりしに依るものなり而して一日中の最多降量なりしは九月六日の豪雨にして二百二十耗八を測り降水日數は百二十七日を數へて平年より廿日の減少となり降雪日數は十六日を算して平年より四日の増加となりしも降霰日數は六日減少して七日を數へたり湿度の年平均は七十三%にて平年より二%の過乾となり其の年中絕對最乾なりしは四月十五日に測れる二十八%なりき風は北風最多を占め北々東風之れに亞ぎ其の平均方向は北廿五度西にて平均風速度は三米六を示して平年より稍々弱かりしが年中絕對最風なりしは七月七日に於て南風廿五米八の烈風を吹走し暴風日數は平年に比し十五日の増加となりて八十日を數へたり雲量は平均五、六にて平年より〇、七少なく殊に八月に於ては僅かに四、五を測りて平年より二、二の減少を示せり日照時は雲の出現比較的少なりしを以て年總計二千百時三を測りて平年の其れに比し實に三百七十九の過照となれり然るに不拘日照日數は比較的多少六十九日を算して平年より二日の増加となり曇天日數は百十三日を數へて平

年より三十二日減少し快晴日數は七十一日にして平年に比すれば廿日の増加となれり平均水蒸氣張力は十耗八にして平年より〇耗四多し年中最大なりしは八月十日に於ける廿五耗九にして一月卅日に測れる一耗六最も小さく地面温度の平均は十六度にて平年より〇度四の過高となれり要するに本年の氣象狀態は年平均上より見る時は平年に比し高温寡雨にして日照多く晴燥の天氣に富み風力は一般に弱かりき今更に各月の概梗を記すれば左の如し

一月 氣壓は平年より一耗一の過昇を示して其の旬別變化著しく顯著なりき即ち上旬は平年より一耗一高かりしに中旬に入りては一耗一の下降を示し下旬に於ては再び上昇して全三耗三の劇昇を見たり而して大陸高氣壓異常の發展に伴ひ寒波の襲來頻繁にして氣温は月中を通して低温にて平均二度の低落を示せり降水量は年内に於ても少なき方なるが本年も其の現象を呈して總量僅かに五十二耗に過ぎざりき要するに斯月は平年に比し低温寡雨にして雲量少なく從て日照時も比較的多かりき

二月 斯月は低氣壓の襲來頻繁にして氣壓は平年に比して零耗九の低落となり氣温は一般に非常に高

く殊に上中旬に於ては稀有の變調を呈して何れも平年より三度以上の過高を示せり而して降水量亦著しく増加して平年を超過すること百二十耗余の多きに達し是亦斯月としては稀有の現象なりき要するに本月は一般に高温多雨にして陰曇の天氣多ク天候不良に經過せる方なりき

三月 は氣壓、氣温、降水量は何れも平年と大差無かりしが久しく北支那に固定せし高氣壓も本月に入りて漸次衰退し始むると共に太平洋及本州中部に屢々高度を示し一方揚子江及支那東海に低氣壓の發生頻繁にして其の影響を受くること多かりしが就中廿三日低氣壓の朝鮮南部を通過せる際に於ては風雨劇しく殊に正午頃に於ては西風卅四米(ゲインズ風壓計)を測り實に稀れなる暴風雨なりき而して風向西偏りの爲め本島西海岸に於て漁船の被害甚大にして死傷者數十名を數ふる等大慘狀を呈せり

四月 斯月氣温は平年より一度三の過高となり雨量著しく寡少にして百耗の減少を示し寧ろ變調とも稱す可き狀態を呈し殊に雨量は概ね下旬に於て降下し上中旬に於ては所謂一夜にして爛漫の花を泥

土に委せしむるの風雨は皆無なりき然れども屢々北鮮滿洲方面を通過せる低氣壓の影響を受けて暴風を吹走すること多かりしも其の平均速度は未だ平年を凌駕するには至らざりき而して降水日少なく晴天日數増加せるを以て日照多く陽春四月の天候としては申分なき良好の天氣多かりき

**五月** 斯月は低氣壓の發生比較的頻繁なりしも氣壓氣温共に顯著なるものなく従つて平年より稍高く殊に氣温に於ては時々最高氣温二十五度を突破し斯月としては稀なる現象を觀たり而して降水量は甚だ寡少にして平年の半ばにも達せず殊に中旬に於ては降水皆無にして連日好晴を持續し氣温の上昇比較的盛んなりき

**六月** 斯月は梅雨期に相當し低氣壓の襲來頻繁にして降水量は年内最も多きを常とせるが本年は梅雨の現象著しく晚れ下旬に入りて漸く陰鬱の天氣を觀たり然れ共一般に梅雨の状態としては雨量寡少にして平年の三割にも達せざりき殊に上中旬に於ては概ね旱天を持續し極めて晴燥雨寡にして近年稀なる早魃を來し温度亦著しく上昇し最高三十度以上の日數五日を數ふる等斯月としては實に未曾

有の現象を呈せり

**七月** 斯月は前月より引續き梅雨期中にあるを以て上旬は陰鬱なる天氣多く中旬より天候快復して晴天持續し暑氣頓に加はり剩く雨量著しく減少して僅かに百四十三耗を測り平年に比し實に百八十七耗の不足を告げて斯月としては稀有の寡量を測れり而して風力又一般に弱く靜穩にして日射烈しき日多かりしを以つて暑氣を感ずること一層甚しく平均氣温廿五度を測り殊に最高極は三十二度を現す等斯月としては未曾有の高温を呈せり

**八月** 斯月氣温は前月より引き続き頗る高温にして加ふるに降雨殆んど無く従つて日照過多蒸發旺盛を極め暑氣頗る酷烈なりしが就中五日に於ては最高氣温三十五度を測りて年内の最高極を示して本所創立以來の高温を現はせり而して驟雨の降下平年に比し著しく減少し降水量は僅かに八耗一に過ぎずして斯月としては少量の記録を表はし殊に一月以來降雨状態は平年の其れに比し著しく不足を告げ二月を除く外毎月半年量に達せず梅雨期に於ても尙平年の半ばに過ぎざる有様なりしに斯月に入るや蒸發愈々旺盛となり加ふるに降雨殆んど

無く旱天持續せしを以つて稀なる早魃を告げて農作物の早害甚だしく水源地井赤涸渴の状態に陥りたり然れども颶風の影響を受くることは稀れにして風力一般に弱く月中最強風も南西風十米八に過ぎずして颶風時期としては頗る平穩に經過したり

**九月** 一月以來一般に高温寡雨にして前月に入りては殆んど降雨無く蒸發旺盛にして稀なる早魃を告げたりしが本月に入るや小笠原島附近及沖繩南方海上に屢々優勢なる颶風現れ加ふるに楊子江域及支那東海に小低氣壓の發生頻繁にして其の影響を受け暴風警報を發すること九回に及び就中三日午后七時に於ては南々西風十七米五の烈風を測れり而して天候は一般に曇天勝にして降水量著しく増加し殊に六日に於ては日量二百二耗八を測りて近年稀れなる豪雨を降らし月總量に於ては平年を凌駕すること百一耗六に及び涸渴に頻せし水田地泉も茲に漸く復活するを得たりしが又一方に於ては豪雨による道路の破壊等の水害を來せり

**十月** 斯月に入るや高氣壓漸次北支那に發達すると共に當地方は北風卓越氣温は平年と大差無く降水

量稍々減少して日照時増加し天候一般に良好に經過せり

**十一月** は北支那に於ける高氣壓漸次發達するに從ひ寒波の襲來頻繁にして氣温の低落を促すを常とせるが本年も亦其の現象を呈して平年より〇度四の下降となり降水量は平年と大差無く日照時増加し天候一般に良好に經過し北西の季節風卓越して暴風を觀測すること多く就中一日午前十時に於ては北西風十五米一の烈風を吹走したりき

**十二月** は一般に天候良好の時期にして殊に降水量は年内に於て最も少なきを常態とせるが本年も亦其の現象を脱せず降水量の如きは稀有の減少を示して僅かに十三耗七を測りて平年の二割にも達せざりき而して大陸高氣壓異常の發展に伴ひて屢々寒波の襲來あり殊に上中旬に於て甚だしく氣温の低落顯著なりき従つて季節風卓越して暴風を觀測すること多かりしが要するに月中を通じて平年に比し低温寡雨にして天氣晴燥に經過せり雨して八日には稀なる地震ありて戸障子稍劇しく鳴り睡眠中の者も概ね目を醒す程度の弱震なりしが引き続き餘震多く有感八回無感十五を測れり尙是等

の詳細に就ては別項に之れを記載せり  
(雑報欄島原地震参照)

### ● 雑報

三月廿三日の暴風雨及被害

本月廿二日正午南京北方に發現したる低氣壓は中心示度七百六十四耗なりしが漸次東北東に進行し始むると共に次第に下降し同日午後六時に於ては七百五十八耗となり翌廿三日午前六時に於ては木浦の北方に進みて七百五十六耗となりて朝鮮南部及本島全部を荒しつゝ同日午後六時には能登沖に去りて七百五十耗に下降せり此低氣壓の通過に際して當地方は廿三日午前二時頃より氣壓下降し始め全十時より南西の強風吹走し全十時に於ては氣壓一時間内實に二耗六の急降を見たりし而して全十分頃より雨を催し暫時にして雷雨となり雨に霰を混へて降下し正午頃には突如颶風襲來して風力計を破損したり今ダインヌ風壓計の記録に依れば一秒間約三十四五米に及び是れ實に本所創立以來稀有の現象にして氣壓は正午に於て最も低く七百五十三耗を測りて月中の最低極を示せりかくて雨は十二時卅六分全く止み風力俄か

に衰へたりしが午後五時頃より再び風力募りて全七時には北西風十八米八を吹走し此の間時々微雪を觀たるが廿四日正午に至りて漸く風弱り天候全く快復せり然るに該暴風に於ては南西乃至北西風強かりし爲め本島西海岸及近海に於ては多數の難波船を出し行衛不明又は死傷者數十名を數へて稀有の慘狀を呈せり此遭難船數は實に百隻の多きに上り損害約九万圓なりと云ふ其の他陸上被害亦尠からず本島南端神崎燈台は此の暴風の爲め廿三日午後一時頃倒壊せり

### ● 七月七日の暴風雨

本月六日朝沖繩附近にありたる優勢なる風は中心示度七百三十耗内外を示し進路を北に採りて九州西方に進みしが進行速度頗る急にして七日正午過ぎには既に本島西方海上を通過し朝鮮南部を掠めて日本海に去りたり而して當地方は七日午前十一時頃より風力順に加はり正午に於ては南風廿五米内外に達し氣壓も亦急降し午後零時卅分遂に七百三十八耗九に下降して最低氣壓を示し風速度二十五米八(南風を)吹走して當地方に稀なる暴風を觀測したり尙ダインヌ自記風壓計の記録に依れば午後一時頃に於て時々

三十米を突破せり斯くて午後三時頃より風力俄かに衰へ以後多少の消長ありしも漸次に快復したり而して此暴風は晝間なりしと雨量比較的少なりし爲め陸上被害は風速の害合に激甚なる災害なく全島に互りて屋根瓦橋梁及石垣の破壊果樹農作物の損害等の被害多く海岸地方に於ては時恰も干潮時なりし爲め浸水等の害少なりき然れども暫時は波浪甚だ高かりし故灣内と雖も殆んど荒海に等しく船舶の破損沈没せるものありて久田港内にては行衛不明者一名を出せりと云ふ

### ● 九月六日の豪雨

本年は稀なる雨量寡少の年にして二月を除く外は毎月平年量に達せず梅雨期に於ても尙平年の半に過す殊に七月廿七日以後は殆んど降雨と稱する程のもの無く従つて八月の降水量は僅かに八耗(平年二百七十一耗)にして創立以來の少量を測り加ふるに氣温は未曾有の上昇をなし蒸發旺盛日照饒多にて稀なる旱魃を告げたり然るに九月五日期に至りて支那東海南部に中心示度七百五十六耗の小低氣壓現れ朝鮮南部及北九州以南の地方に於ては所々に降雨を見たり

しが當地方も其の影響を受けて五日午前七時頃より降雨を催し該低氣壓の北東に進行して漸次接近するに従ひ夕刻より雨勢次第に加はり夜に入りて益々劇烈となり加ふるに電雷轟き近年稀なる豪雨を降らし低氣壓の日本海に通過すると共に雨勢衰へたりしが此の降水總量は(五日午前七時より七日午前四時に至る)二百七耗三(一坪面四石五斗二升六)にして其の最も劇しかりしは六日午前二時より三時に到る一時間五十二耗六(一坪面六斗六升)にして此の降雨に依りて殆んど涸渴の状態に陥りし水田池泉も漸く蘇生し田園原野には生色滿ち農家の喜び言語に絶えたり然れども又一方には多少の被害を生じて所々に崖崩れ橋梁の流失等の小被害を見るに至れり

### ● 十二月八日島原の地震

本月八日縣内南高來郡方面に大地震ありて震源地にては人畜の死傷家屋の倒壊其他夥しき被害を見たりしが今此地震の當地方に於て人身に感せしものを記するれば次の如し

月日	發震時	初期微動 繼續時間	最大振幅 (ミクロン)	其發震時	其週期	總震動期	記	事
十二月八日	午前一時五十分廿九秒	廿五秒	西北(三六〇)	午前一時五十分廿三秒	一秒二	十七分四十八秒	弱震	稍急
全日	午前二時十分廿七秒	—	西北(二五〇)	午前二時十一分廿七秒	一秒〇	六分七秒	微震	稍急
全日	午前五時七分七秒	—	東南(三八〇)	午前五時七分四十八秒	一秒二	四分五十秒	微震	稍急
全日	午前七時廿一分零一秒	廿二秒	東南(一八〇)	午前七時廿三分七秒	一秒二	九分五十秒	稍急	(弱き方)
全日	午前十一時二分十九秒	廿二秒	西北(五八〇)	午前十一時三分七秒	一秒四	十三分十秒	稍急	(弱き方)
全日	午後二時十六分零八秒	廿七秒	西北(二八〇)	午後二時十八分廿六秒	一秒二	五分廿二秒	微震	稍急
全日	午後四時十五分廿二秒	—	西北(八六〇)	午後四時十六分八秒	一秒〇	四分四十六秒	微震	稍急
全日	午後四時十五分十二秒	—	西北(四四〇)	午後五時十九分零四秒	一秒二	三分十二秒	微震	稍急

此地震の初めて當地方に波及せしは七日午後四時十七分四秒四にして夫れより十一日迄微動計には總計二十一回に及び内人身に感覺を與へたるもの前記の八回なりしが初期微動繼續時間は大抵二十秒内外を示し震動の最も大なりしは八日午前一時五十分二十八秒八に發震せしものにして二十五秒二を記録して其の震源距離は南東約四十七里を示したり而して此

の震源に就て長崎測候所の發表する所に據れば長崎市の東微南に當る縣下千々岩灘海底に起りし地之り地震なりと云ふ

● 嚴原本年寒中の氣象

本年の寒中は之れを數の上より見れば著しき低温を示し降水量は約三割を減少し雲量は平年と大差なく

日照時多く風力は一般に弱く暴風日數は僅かに六日に過ぎざりき要するに本年の寒中は天候比較的良好にして風力弱かりしを以て温度の低かりしに比し凌

き良き氣候を呈したりき尙各要素を平年に比較すれば次表の如し

年種別	平均氣温	最低氣温	降水量	降水日數	快晴日數	湿度	日照時間	暴風日數
本年	三・二度	一・二	五・二	一六	六	六	一五八・〇	五
平年	四・七	〇・八	六・七	三三	六	六	二二六・四	七
平年より	(-) 一・五	(-) 一・九	(-) 一・五	(-) 一七	(-) 〇	(-) 〇	(-) 六八・四	(-) 二

● 嚴原本年土用(夏)の氣象

本年夏土用の平均氣温は二十五度八を測りて平年より〇度二高く雨日數僅かに三日を數へて平年より五日減少し従つて降水量亦著しく寡少にして平年に不足すること百三十四耗に及び曇天日數五日を算して全四日の減少となりて概ね旱天を持續し平均雲量五二を測り日照時は著しく増大して平年を凌駕すること三十五時に及び蒸發亦旺盛なりき加ふるに風力一般に弱く暑氣を感ずること一層甚しかりき暴風日

數は二日を數へ最強風速度は七月廿五日に測れる南西風十七米四の烈風なりき而して最高氣温の極は八月五日に測れる三十五度七にして本年中の高極を示し又實に創立以來の高温を現せり要するに本年の土用は例年に比し最高氣温著しく高く且晴燥寡雨にして日照饒多蒸發旺盛を極め暑氣を感ずること殊に甚しかりき更に各要素に就き平年に比較せば左の如し

年種別	平均気温	平均最高気温	最高気温	雨量	雨日数	快晴日数	日照時数
本年	二五、八度	三二、〇度	三五、七度	三五、三	三	五	一四七、一
平年	二五、六	二九、四	三四、五	一六九、四	八	二	一一、七
平年より	(+) 〇、二	(+) 二、六	(-) 一	(-) 一三四、一	(-) 三	(+) 三	(+) 三五、七

◎ 本年の梅雨

本年本島に於ては梅雨の實現著しく晩れ六月二十三日に至りて漸く陰鬱の天候を現はし梅雨の状態を見たりしが七月五日に至りて此状態を脱せり而して其の期間は平年二十四日間なるも本年僅かに十五日に過ずして該期間中に於ける氣象を述べれば雨日日数十四日を數へて平年より三日少なく其の量に於ても

亦非常なる減少を來して僅かに二百四耗に過ぎず平年の半量に達せざりき又曇天日数は五日減少し従つて日照時は百五十三時にして平年を凌駕すること四十二時六に及び湿度も亦三%減少し平均気温は二十二度四を測りて平年より一度一高かりき更に各要素を平年と比較せば左の如し

年種別	気温	雨量	曇	天雲	湿度	日照	風速度
本年	二五、八	一〇四、〇	(-)	一四	八二	一五三、〇	
平年	二五、六	四〇九、一	(-)	二七	八五	一一〇、四	
平年より	(+) 一、二	(-) 二五〇、一	(-)	三	(-) 三	(+) 四二、六	

◎ 巖原の初雪

十一月廿五日末明當地方に劇しき雷雨を催せし低氣壓の日本海に進入するや益々發達して中心示度七百五十四耗に降り一方北支那の優勢なる高氣壓は黃海流域に擴がりて七百八十二耗に上昇し本邦西部は氣壓傾度著しく急峻となり當地方は是の氣壓配置に依り北西の季節風卓越し従つて氣温の急降を促し廿六日午前四時四十分頃より時々雨に微雪を交へて降下せるを見たりしが之れ巖原に於ける本年の初雪にして平年より十九日昨年より二十三日何れも早かりき而して當地に於ける初雪は平年十二月十五日なるも本年は著しく其の期を早め本所に於て十一月中旬に初雪を觀測せしは僅々五回に過ぎずして極めて稀なる現象を示せり

- 十一月中に初雪を觀測したる年月日
- 一、明治廿四年十一月廿五日
- 一、全 卅四年十一月廿八日
- 一、全 四十年十二月卅日
- 一、全 四十四年十一月十一日
- 一、大正十一年十一月廿六日

◎ 本島の初霜

本年本島に於ける初霜は十一月九日琴に於て觀測し越えて十一日に至り各地一齊に之れを觀たり尙之れを平年に比較せば次の如し

地名	初日月日	平年より	昨年より
豊 佐須奈	十二月十日	四日晚し	一日晚し
琴 久原	十二月九日	六日晚し	十日晚し
竹 敷	全月十日	一日早し	一日早し
大船越	全 日	二日晚し	二日早し
仁 位	全 日	十日晚し	一日晚し
小茂田	全 日	二日晚し	二日早し
巖原	全 日	三日早し	二日晚し
豆 酸	全 日	六日早し	二日早し

◎ 本島の初雪

本島の初雪は十一月廿六日に於て各地一齊に之れを觀測したりしが何れも平年より著しく其の期を早めたりき



大正拾壹年對馬氣象年報

嚴原氣象每月ノ成績

(氣壓ノ示度ヲ重力並ニ海面ノ示度ニ更止スルニハ耗チ加フベシ)

種別	月次	氣壓		氣溫							顯度		
		起日	極日	起日	極日	起日	極日	平均	最高	最低	起日	極日	
一月	一月	廿六日	廿九日	十一日	廿九日	九日	廿九日	二日	廿九日	二日	廿九日	廿四日	廿九日
二月	二月	廿六日	廿九日	廿四日	廿九日	廿四日	廿九日	廿四日	廿九日	廿四日	廿九日	廿四日	廿九日
三月	三月	廿六日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日
四月	四月	廿六日	廿九日	廿四日	廿九日	廿四日	廿九日	廿四日	廿九日	廿四日	廿九日	廿四日	廿九日
五月	五月	廿六日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日
六月	六月	廿六日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日
七月	七月	廿六日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日
八月	八月	廿六日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日
九月	九月	廿六日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日
十月	十月	廿六日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日
十一月	十一月	廿六日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日
十二月	十二月	廿六日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日
全年	全年	廿六日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日	廿三日	廿九日

種別	月次	水蒸氣		風		雲量		日照時		降水量	
		起日	極日	起日	極日	起日	極日	起日	極日	起日	極日
一月	一月	廿六日	廿九日	北十度	北十度	北十度	北十度	廿六日	廿九日	廿六日	廿九日
二月	二月	廿六日	廿九日	北六度	北六度	北六度	北六度	廿六日	廿九日	廿六日	廿九日
三月	三月	廿六日	廿九日	北七度	北七度	北七度	北七度	廿六日	廿九日	廿六日	廿九日
四月	四月	廿六日	廿九日	北七度	北七度	北七度	北七度	廿六日	廿九日	廿六日	廿九日
五月	五月	廿六日	廿九日	北七度	北七度	北七度	北七度	廿六日	廿九日	廿六日	廿九日
六月	六月	廿六日	廿九日	北九度	北九度	北九度	北九度	廿六日	廿九日	廿六日	廿九日
七月	七月	廿六日	廿九日	南六度	南六度	南六度	南六度	廿六日	廿九日	廿六日	廿九日
八月	八月	廿六日	廿九日	南三度	南三度	南三度	南三度	廿六日	廿九日	廿六日	廿九日
九月	九月	廿六日	廿九日	北九度	北九度	北九度	北九度	廿六日	廿九日	廿六日	廿九日
十月	十月	廿六日	廿九日	北五度	北五度	北五度	北五度	廿六日	廿九日	廿六日	廿九日
十一月	十一月	廿六日	廿九日	北五度	北五度	北五度	北五度	廿六日	廿九日	廿六日	廿九日
十二月	十二月	廿六日	廿九日	北五度	北五度	北五度	北五度	廿六日	廿九日	廿六日	廿九日
全年	全年	廿六日	廿九日	北五度	北五度	北五度	北五度	廿六日	廿九日	廿六日	廿九日

嚴原氣象六回觀測成績

種別	氣		壓		氣		水		蒸		張		力	
	平	二	平	二	平	二	平	二	平	二	平	二	平	二
時間	均	時	均	時	均	時	均	時	均	時	均	時	均	時
月次														
一月	七六.六	七六.六	七六.六	七六.六	七六.六	七六.六	七六.六	七六.六	七六.六	七六.六	七六.六	七六.六	七六.六	七六.六
二月	七六.〇	七六.〇	七六.〇	七六.〇	七六.〇	七六.〇	七六.〇	七六.〇	七六.〇	七六.〇	七六.〇	七六.〇	七六.〇	七六.〇
三月	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三
四月	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三	七六.三
五月	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二
六月	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二	七六.二
七月	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六
八月	七五.五	七五.五	七五.五	七五.五	七五.五	七五.五	七五.五	七五.五	七五.五	七五.五	七五.五	七五.五	七五.五	七五.五
九月	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二
十月	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二	七五.二
十一月	七五.九	七五.九	七五.九	七五.九	七五.九	七五.九	七五.九	七五.九	七五.九	七五.九	七五.九	七五.九	七五.九	七五.九
十二月	七五.一	七五.一	七五.一	七五.一	七五.一	七五.一	七五.一	七五.一	七五.一	七五.一	七五.一	七五.一	七五.一	七五.一
全年	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六	七五.六

飽差	日最高	無氣最高	地中	最低	地面	蒸發量	
						箱內	箱外
起	起	起	深	起	平	平	平
日	日	日	十	極	年	年	年
均	均	均	尺	均	均	均	均
廿四日	十三日	十三日	深三寸	(-)	(-)	(-)	(-)
九日	十日	九日	深一尺	(-)	(+)	(+)	(+)
十五日	十一日	十一日	深三尺	(-)	(+)	(+)	(+)
廿八日	廿八日	廿八日	深十尺	(-)	(+)	(+)	(+)
廿六日	廿六日	十九日		(+)	(+)	(+)	(+)
十四日	廿日	廿日		(+)	(+)	(+)	(+)
十九日	十五日	十九日		(+)	(+)	(+)	(+)
廿二日	廿二日	廿三日		(+)	(+)	(+)	(+)
二日	二日	一日		(+)	(+)	(+)	(+)
廿三日	八日	廿四日		(+)	(+)	(+)	(+)
三日	八日	七日		(-)	(-)	(-)	(-)
二日	廿六日	廿九日		(-)	(-)	(-)	(-)
六月十四日	十五日	八月三日		(-)	(-)	(-)	(-)

種別	降水量					地面溫度					中深三溫度				
	平	廿	十	十	六	平	廿	十	十	六	平	廿	十	十	六
時間	均	時	時	時	時	均	時	時	時	時	均	時	時	時	時
一月	五,〇	一八,六	三九,二	五九,七	六八,七	二,九	二,二	三,三	五,三	二,四	二,一	二,八	三,三	三,三	三,五
二月	三,三	八,五	一五,六	二五,七	三三,八	七,一	六,六	八,〇	九,八	六,八	五,九	五,四	六,五	六,五	七,〇
三月	二,〇	三,〇	四,一	五,二	六,三	二,〇	三,一	四,二	五,三	六,四	二,〇	三,一	四,二	五,三	六,四
四月	一,七	二,八	三,九	四,〇	五,一	一,七	二,八	三,九	四,〇	五,一	一,七	二,八	三,九	四,〇	五,一
五月	一,九	三,〇	四,一	五,二	六,三	一,九	三,〇	四,一	五,二	六,三	一,九	三,〇	四,一	五,二	六,三
六月	二,三	三,四	四,五	五,六	六,七	二,三	三,四	四,五	五,六	六,七	二,三	三,四	四,五	五,六	六,七
七月	二,六	三,七	四,八	五,九	六,〇	二,六	三,七	四,八	五,九	六,〇	二,六	三,七	四,八	五,九	六,〇
八月	二,九	四,〇	五,一	六,二	七,三	二,九	四,〇	五,一	六,二	七,三	二,九	四,〇	五,一	六,二	七,三
九月	三,二	四,三	五,四	六,五	七,六	三,二	四,三	五,四	六,五	七,六	三,二	四,三	五,四	六,五	七,六
十月	三,五	四,六	五,七	六,八	七,九	三,五	四,六	五,七	六,八	七,九	三,五	四,六	五,七	六,八	七,九
十一月	三,八	四,九	六,〇	七,一	八,二	三,八	四,九	六,〇	七,一	八,二	三,八	四,九	六,〇	七,一	八,二
十二月	四,一	五,二	六,三	七,四	八,五	四,一	五,二	六,三	七,四	八,五	四,一	五,二	六,三	七,四	八,五
全年	三,〇	四,一	五,二	六,三	七,四	三,〇	四,一	五,二	六,三	七,四	三,〇	四,一	五,二	六,三	七,四

種別	風速					雲量					溫度				
	平	廿	十	十	六	平	廿	十	十	六	平	廿	十	十	六
時間	均	時	時	時	時	均	時	時	時	時	均	時	時	時	時
一月	三,八	三,三	三,〇	三,五	三,一	三,八	三,三	三,〇	三,五	三,一	三,八	三,三	三,〇	三,五	三,一
二月	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇
三月	三,五	四,〇	四,五	五,〇	三,五	三,五	四,〇	四,五	五,〇	三,五	三,五	四,〇	四,五	五,〇	三,五
四月	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇
五月	三,五	四,〇	四,五	五,〇	三,五	三,五	四,〇	四,五	五,〇	三,五	三,五	四,〇	四,五	五,〇	三,五
六月	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇
七月	三,五	四,〇	四,五	五,〇	三,五	三,五	四,〇	四,五	五,〇	三,五	三,五	四,〇	四,五	五,〇	三,五
八月	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇
九月	三,五	四,〇	四,五	五,〇	三,五	三,五	四,〇	四,五	五,〇	三,五	三,五	四,〇	四,五	五,〇	三,五
十月	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇
十一月	三,五	四,〇	四,五	五,〇	三,五	三,五	四,〇	四,五	五,〇	三,五	三,五	四,〇	四,五	五,〇	三,五
十二月	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇
全年	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇	三,〇	三,五	四,〇	四,五	三,〇



◎管内氣象毎月ノ成績 (午前十時一回)

種別	温氣						地名/月次
	温氣低最均平		温氣高最均平		温氣		
	神	殿	小	仁	久	琴	豐
	崎	原	田	位	原	奈	佐
一月	(-) (-) (-) (-) ?	九, 四	六, 五	五, 九	七, 七	六, 〇	六, 五
二月	一, 九	一, 一	一, 八	〇, 九	〇, 三	一, 七	一, 三
三月	五, 三	三, 五	一, 二	二, 六	三, 三	二, 七	二, 四
四月	五, 八	三, 五	一, 七	二, 三	三, 一	三, 〇	三, 〇
五月	一, 五	九, 六	八, 四	八, 五	九, 七	九, 三	〇, 九
六月	二, 一	二, 六	二, 三	二, 四	二, 〇	二, 七	二, 一
七月	三, 二	三, 一	三, 〇	三, 〇	三, 〇	三, 〇	三, 〇
八月	二, 五	二, 四	二, 〇	二, 〇	二, 〇	二, 〇	二, 〇
九月	三, 三	三, 〇	三, 〇	三, 〇	三, 〇	三, 〇	三, 〇
十月	二, 五	二, 三	二, 三	二, 三	二, 三	二, 三	二, 三
十一月	九, 一	六, 四	七, 〇	七, 三	六, 八	六, 三	六, 六
十二月	三, 七	二, 五	二, 〇	二, 八	〇, 〇	〇, 二	〇, 五
全年	二, 九	二, 一	一, 〇	一, 三	一, 〇	一, 〇	一, 〇

種別	極低最温氣						極高最温氣						地名/月次	
	向風多最		極低最温氣		極高最温氣		向風多最		極低最温氣		極高最温氣			
	神	殿	小	仁	久	琴	豐	神	殿	小	仁	久	琴	豐
	崎	原	田	位	原	奈	佐	崎	原	田	位	原	奈	佐
一月	北	北	西	北	北	西	西	北	北	西	北	北	西	西
二月	南	北	南	北	北	北	北	南	北	南	北	北	北	北
三月	南	北	東	北	北	西	北	南	北	東	北	北	西	北
四月	北	北	南	北	北	西	東	北	北	南	北	北	西	東
五月	北	北	東	北	北	西	東	北	北	東	北	北	西	東
六月	北	西	南	南	西	西	東	北	西	南	南	西	西	東
七月	南	南	西	南	南	西	東	南	南	西	南	南	西	東
八月	北	南	西	北	南	西	東	北	南	西	北	南	西	東
九月	北	北	東	北	北	北	東	北	北	東	北	北	北	東
十月	東	北	西	北	北	西	東	東	北	西	北	北	西	東
十一月	北	北	西	北	西	西	西	北	北	西	北	西	西	西
十二月	北	北	西	北	西	西	西	北	北	西	北	西	西	西
全年	北	北	西	北	北	西	東	北	北	西	北	北	西	東



數日霜結					數日風暴					數日天曇					種別 地名/月次
神	殿	小	仁	久	神	殿	小	仁	久	神	殿	小	仁	久	
崎	原	田	位	原	崎	原	田	位	原	崎	原	田	位	原	
?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	三	七	三	八	二	
一	七	〇	〇	〇	三	八	四	二	六	三	七	三	八	二	
?	?	?	?	?						〇	二	六	九	六	
一	九	〇	〇	〇	三	三	二	四	二	〇	二	六	九	六	
七	一	〇	〇	〇	三	九	四	四	五	九	六	七	七	〇	
〇	一	〇	〇	〇	三	〇	四	五	〇	三	九	三	九	八	
〇	〇	〇	〇	〇	一	八	六	〇	一	二	四	二	五	四	
〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	〇	〇	〇	三	三	三	二	二	
〇	〇	〇	〇	〇	二	五	四	七	三	二	七	八	六	五	
〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	二	一	〇	九	三	三	九	八	
〇	〇	〇	〇	〇	三	二	九	六	一	三	三	二	九	八	
〇	〇	〇	〇	〇	一	七	六	一	〇	八	七	八	八	〇	
〇	三	二	一	一	一	〇	二	一	三	五	二	二	〇	九	
?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	五	二	二	〇	九	
〇	二	〇	〇	〇	一	四	九	五	三	六	三	六	〇	九	
?	?	?	?	?						二	四	六	〇	九	
二	五	三	一	一	三	〇	七	三	三	三	四	八	一	五	

廿五

數日晴快					數日霧濃					數日雷電					種別 地名/月次
神	殿	小	仁	久	神	殿	小	仁	久	神	殿	小	仁	久	
崎	原	田	位	原	崎	原	田	位	原	崎	原	田	位	原	
五	八	九	七	七	〇	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
三	四	三	八	一	〇	三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
六	〇	九	六	七	〇	五	〇	一	〇	〇	二	〇	一	〇	
二	六	三	二	二	〇	六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
一	二	七	〇	八	一	四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
六	二	〇	三	〇	一	七	〇	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	
二	六	三	四	五	一	三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
五	五	五	九	六	〇	七	〇	〇	〇	一	一	〇	〇	〇	
四	二	一	二	〇	〇	三	〇	〇	〇	?	?	?			
七	〇	七	二	九	〇	〇	〇	〇	〇	?	?				
九	〇	九	五	七	〇	二	〇	〇	〇			?			
〇	二	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
〇	六	六	二	八	〇	〇	〇	〇	〇	?					
六	六	六	二	八	三	〇	〇	〇	〇	八	三	二	四	六	

廿四

種別	地名/月次	最高温度					最低温度										
		豐	佐	琴	久	仁	小	嚴	神	豐	佐	琴	久	仁	小	嚴	神
	一月																??
	二月																??
	三月																??
	四月																
	五月																
	六月																
	七月																
	八月																
	九月																
	十月																
	十一月																
	十二月																
	全年																

對馬地方暴風警報信号標所在地

郡町村名	緯度(北緯)	經度(東經)
上縣郡佐須奈村大字佐須奈	三四度三九分	一二九度二四分
全 郡豐崎村大字比田勝	三四度四〇分	一二九度二八分
全 郡琴村大字琴	三四度三四分	一二九度二七分
全 郡仁田村大字鹿見	三四度三一分	一二九度一九分
全 郡船越村大字大船越	三四度一七分	一二九度二一分
下縣 郡竹敷村大字竹敷	三四度一八分	一二九度一八分
下縣郡船越村大字鴨居瀬	三四度二〇分	一二九度二一分
全 郡鷓知村大字鷓知	三四度一六分	一二九度一九分
全 郡原町大字天道茂	三四度一八分	一二九度二一分
全 郡豆酸村大字豆酸	三四度七分	一二九度一七分
全 郡豆酸村大字豆酸	三四度七分	一九一度二分



大正十二年三月廿五日印刷  
大正十二年五月一日發行

(非賣品)

長崎縣下縣郡嚴原町天道茂五百〇八番地

發行所 **長崎縣嚴原測候所**

電話一二六番

長崎縣下縣郡嚴原町天道茂五百〇八番地

發行者 石田清太郎

電話一三一番

長崎縣東彼杵郡大村町六十四番地

印刷者 福田清海

電話一三七番

大正十二年五月廿三日

臺灣銀行



匯票

匯票

匯票

匯票

146  
50



終